



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月27日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社

コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	330,901	△0.6	14,289	△11.9	14,223	△12.0	8,340	△8.5
25年2月期第3四半期	333,042	△1.7	16,223	△8.8	16,164	△8.5	9,115	24.3

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 9,296百万円 (7.0%) 25年2月期第3四半期 8,686百万円 (18.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	59.51	—
25年2月期第3四半期	63.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	357,483	150,266	42.0
25年2月期	305,912	145,522	47.6

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 150,266百万円 25年2月期 145,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	9.00	—	10.00	19.00
26年2月期	—	10.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	433,900	△0.1	17,000	△10.7	16,700	△11.5	9,300	△12.1	66.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	142,576,627 株	25年2月期	142,576,627 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	4,426,444 株	25年2月期	1,916,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	140,171,469 株	25年2月期3Q	144,139,088 株

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報	8
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策への期待感から円安・株高を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で輸入資材、原油等の価格上昇、新興国の成長鈍化や米国における金融緩和縮小懸念など景気下振れリスクが存在し、今後の経営環境は依然として不透明なものとなっております。

小売業におきましては、景気回復への期待感から、一部では消費マインドの回復に明るさが見られるものの依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については24店舗、退店については7店舗を実施いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間末日現在の店舗数は531店舗（カーマ135店舗、ダイキ159店舗、ホームマック237店舗）となりました。

販売面においては、4月から5月中旬にかけての低温により、園芸用品の売上が伸び悩みました。また防災、節電関連用品も前年度からの反動減により低調に推移しました。このような中、作業用品、工具、資材は、販売強化に取り組んだこともあり堅調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は3,309億1百万円（前年同期比99.4%）、営業利益は142億8千9百万円（前年同期比88.1%）、経常利益は142億2千3百万円（前年同期比88.0%）、四半期純利益は83億4千万円（前年同期比91.5%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、天候不順や節電需要の減速などにより全体的に売上が伸び悩みましたが、エクステリア用品は小型収納庫や高品質の人工芝を中心に、天候に左右されることなく好調に推移しました。その結果、売上高は558億8千2百万円となりました。

② ホームインブルーメント部門

昨年の爆弾低気圧による需要の反動から波板、雨どいなどの建築資材や節電需要の減速により網戸関連などの季節商品の売上が伸び悩みましたが、工具関連ではプロ需要を取り込むため大型店や専門店で売場を拡大し、売上が好調に推移しました。その結果、売上高は575億1千3百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル・レジャー用品では、重点的に販売に取り組んだ電動自転車やレジャーチェア、バーベキューテーブルなどのキャンプ関連用品が好調でした。ペット用品では、ドライフードの売上が伸び悩みましたが、半生タイプやパウチタイプのフードが好調でした。その結果、売上高は497億9千9百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

日用品では、清掃用品や浴用品の売上が伸び悩みましたが、濃縮液体洗剤や室内物干などの洗濯用品、DCMブランドの圧縮袋や衣類ハンガーを中心とした整理用品が好調でした。食品部門では、販売を強化した米類やDCMブランドの飲料が好調でした。その結果、売上高は899億5千7百万円となりました。

⑤ ホームファニシング部門

インテリア、寝具用品では、い草製品やコタツふとんなど季節商品の売上が伸び悩みましたが、品揃えを拡充したクッションや高反発マットレスなどが好調でした。家具収納用品では、品揃えを拡充した高齢者向け座椅子やふた式収納、引き出し収納などが好調でした。その結果、売上高は248億5千万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

家電用品では、計画停電による需要の反動や気温が昨年より高めに推移したことにより、ポータブル石油ストーブの売上が伸び悩みましたが、電気ストーブ・加湿器・空気清浄機など電気暖房関連商品が好調でした。また、住宅設備関連では、リフォームキャンペーンやキッチンコンロフェアを実施したことにより、温水洗浄便座や洗面化粧台、ビルトインコンロが好調でした。その結果、売上高は332億4千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、当年11月30日が金融機関休業日であったため現金及び預金が増加したこと、また新規24店舗の出店などにより有形固定資産や商品在庫が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して515億7千万円増加し、3,574億8千3百万円となりました。

負債残高は、同じく金融機関休業日の影響による買掛金等の未決済残高が増加したことや長期運転資金の借入などから、負債合計は前連結会計年度末に比較して468億2千6百万円増加し、2,072億1千7百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや自己株式の取得、四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して47億4千3百万円増加し、1,502億6千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年9月27日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,203	28,440
受取手形及び売掛金	3,224	6,462
リース投資資産	2,495	2,985
商品	72,252	85,091
繰延税金資産	1,153	1,418
その他	5,479	6,718
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	96,805	131,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,000	161,520
減価償却累計額	△88,836	△91,326
建物及び構築物（純額）	62,163	70,194
土地	70,222	73,458
リース資産	4,413	8,844
減価償却累計額	△566	△871
リース資産（純額）	3,846	7,973
建設仮勘定	2,084	2,314
その他	22,909	25,818
減価償却累計額	△17,006	△18,876
その他（純額）	5,902	6,942
有形固定資産合計	144,220	160,884
無形固定資産		
借地権	5,894	5,912
ソフトウェア	4,240	3,633
その他	198	200
無形固定資産合計	10,333	9,746
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	9,208
敷金及び保証金	41,341	41,554
繰延税金資産	1,672	887
長期前払費用	2,497	2,914
その他	1,364	1,230
貸倒引当金	△60	△59
投資その他の資産合計	54,552	55,735
固定資産合計	209,106	226,365
資産合計	305,912	357,483

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成25年2月28日)当第3四半期連結会計期間
(平成25年11月30日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	41,229	72,260
短期借入金	37,650	39,300
1年内返済予定の長期借入金	21,404	19,887
リース債務	97	202
未払法人税等	2,619	2,342
繰延税金負債	7	6
賞与引当金	1,403	2,150
ポイント引当金	392	358
その他	10,377	12,556
流動負債合計	115,181	149,064
固定負債		
長期借入金	30,212	38,510
リース債務	4,345	8,524
繰延税金負債	542	949
再評価に係る繰延税金負債	209	209
退職給付引当金	458	51
役員退職慰労引当金	19	—
資産除去債務	1,299	1,322
長期預り金	5,529	5,522
負ののれん	92	73
その他	2,499	2,988
固定負債合計	45,208	58,152
負債合計	160,390	207,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	95,706	101,233
自己株式	△781	△2,519
株主資本合計	146,528	150,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908	1,865
繰延ヘッジ損益	11	9
土地再評価差額金	△1,925	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△1,005	△50
純資産合計	145,522	150,266
負債純資産合計	305,912	357,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	329,002	326,523
売上原価	231,657	229,445
売上総利益	97,345	97,077
営業収入		
不動産賃貸収入	4,039	4,378
営業総利益	101,384	101,455
販売費及び一般管理費	85,160	87,166
営業利益	16,223	14,289
営業外収益		
受取利息	196	193
受取配当金	241	181
為替差益	134	277
その他	248	371
営業外収益合計	820	1,024
営業外費用		
支払利息	809	982
その他	70	107
営業外費用合計	880	1,090
経常利益	16,164	14,223
特別利益		
固定資産売却益	10	1
退職給付制度終了益	—	103
国庫補助金	—	36
賃借契約精算金	16	—
特別利益合計	26	141
特別損失		
固定資産除売却損	333	335
投資有価証券評価損	52	—
減損損失	187	99
その他	32	67
特別損失合計	605	501
税金等調整前四半期純利益	15,586	13,862
法人税、住民税及び事業税	5,172	5,118
法人税等調整額	1,299	403
法人税等合計	6,471	5,521
少数株主損益調整前四半期純利益	9,115	8,340
四半期純利益	9,115	8,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,115	8,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△398	957
繰延ヘッジ損益	△11	△1
土地再評価差額金	△18	—
その他の包括利益合計	△428	955
四半期包括利益	8,686	9,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,686	9,296
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成25年9月27日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、自己株式が1,841百万円増加しております。

(5) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	99,321	84,838	148,725	156	333,042	—	333,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	32,171	32,177	△32,177	—
計	99,321	84,841	148,728	32,328	365,219	△32,177	333,042
セグメント利益	4,515	2,241	8,991	6,077	21,825	△5,601	16,223

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△5,601百万円には、セグメント間取引消去△5,613百万円、その他11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	98,447	83,158	149,150	144	330,901	—	330,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	35,331	35,337	△35,337	—
計	98,447	83,161	149,153	35,476	366,238	△35,337	330,901
セグメント利益	4,090	1,839	7,797	6,098	19,825	△5,535	14,289

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△5,535百万円には、セグメント間取引消去△5,545百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	56,043	17.0	55,882	17.0	66,338	15.5
ホームインブルーブメント	56,594	17.2	57,513	17.6	73,929	17.2
ホームレジャー・ペット	50,009	15.2	49,799	15.3	64,026	14.9
ハウスキーピング	90,793	27.7	89,957	27.6	118,971	27.8
ホームファニッシング	25,598	7.8	24,850	7.6	33,180	7.7
ホームエレクトロニクス	34,379	10.4	33,245	10.2	48,779	11.4
その他	15,584	4.7	15,274	4.7	23,577	5.5
合計	329,002	100.0	326,523	100.0	428,803	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他